

2022 年 2 月

新専門医制度・専攻医募集のご案内

心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設・基幹施設 修練責任者 各位

日頃より、心臓血管外科専門医認定機構の活動にご理解・ご協力くださいますこと感謝申し上げます。

新専門医制度に関して、2021 年 11 月 19 日に開催されましたサブスペシャリティ領域整備基準審査結果説明会（一般社団法人日本専門医機構主催）におきまして、心臓血管外科領域は連動研修が認められるサブスペシャリティとして承認されました。これを受けて 1 月 17 日付で、サブスペシャリティ専門医制度としての心臓血管外科専攻医募集を始めることが認められました。よって、本年 4 月からサブスペシャリティ研修を開始する専攻医の公募を本日より開始します。

本年 4 月から開始するカリキュラムとして 101 の修練施設群が条件を満たすものとして認められていますので、リストにして公開します。

http://cvs.umin.jp/new_spcl_doc/new_spcl_shisetsu2022.pdf

専攻医を採用することが出来るのは基幹施設だけですので、本年 4 月からサブスペシャリティとしての心臓血管外科研修を開始する専攻医は、希望する基幹施設（修練責任者）に連絡して、専攻医登録申請書（様式 2）の準備を始めるようご指導ください。

基幹施設のリストは、心臓血管外科専門医認定機構の HP に公開されています。

http://cvs.umin.jp/inst_list/pdf/2021.10shisetsu.pdf

基幹施設に採用されることが決まったら、（その基幹施設が複数の施設群に属している場合には、修練責任者と相談してどの施設群に属するのか決定し、）所属する施設群の修練統括責任者に専攻医登録申請書（様式 2）及び医師免許証の写しを提出させてください。各施設群の修練統括責任者は、心臓血管外科領域専攻医採用報告（様式 1）と専攻医登録申請書（様式 2）及び専攻医の医師免許証（写し）により、選考結果を 3 月 15 日までに心臓血管外科領域専門医検討委員会にご提出ください。

各修練施設群の修練統括責任者の方は、専攻医から問い合わせがあった場合には施設群の内容など、施設群の概要と研修概略についてご説明ください。

本年 4 月からのサブスペシャリティ連動研修および通常研修開始の対象者は、2022 年 3 月末時点で外科専門研修開始後 1 年以上経過している医師です。心臓血管外科領域専門医制度では心臓血管外科研修開始登録を行ってから 3 年以上の年限が経過していないと研修の修了、および専門医試験の受験が出来ないことになっています。本年 4 月にサブスペシ

ャルティ研修開始を考えている専攻医は、どこかの基幹施設に応募した上で、採用されたら施設群の修練統括責任者を通して専攻医登録申請書（様式2）及び医師免許証の写しを提出することが必須となりますので、そのようにご指導ください。

なお2016年、2017年、2018年初期臨床研修開始（国家試験合格）の者で、2年連動研修を希望する場合には、特例として

2016年初期臨床研修開始の者は2019年4月、

2017年初期臨床研修開始の者は2020年4月、

2018年初期臨床研修開始の者は2021年4月に遡って研修開始登録を受け付けます。添付のパワーポイントを参照して、自分がどれにあたるのか確認させてください。

基幹施設に専攻医として採用が決まりましたら、専攻医登録申請書（様式2）に記載させ、医師免許証の写しと共に修練統括責任者を通して提出して頂きます。例えば、新専門医制度の最初の学年となる2016年初期臨床研修開始の者は2018年4月から外科専門研修に入って、最短では2021年3月に外科専門研修は終わっております。2年連動研修の場合にはサブスペシャルティの心臓血管外科専門研修も2022年3月末に終わることになりますので、遅滞なく専門医試験が受けられるように、上記のスケジュールで研修認定を行います（スライド参照）。

新専門医制度では研修年限の最短と最長を定めるように規定されていますので、心臓血管外科専門医制度では3年以上9年以下としています。申請に足りる十分な症例数の経験があつて、出来るだけ早く専門医受験資格を得たい者は連動研修を選択したら良いと思いますが、症例の蓄積に不安がある場合には連動型でなく通常型を選んだ方が2年間の余裕ができるので有利だと思います。各専攻医の研修状況と個々人の希望を考えて、連動型か通常型かを選択するようにご指導ください。

◎専攻医採用報告、専攻医登録申請書の送付先

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-27 テラル後楽ビル1階

日本胸部外科学会内

心臓血管外科専門医認定機構 宛